



旭川赤十字病院



病院データ

住所	〒070-8530 旭川市曙1条1丁目1-1
URL	https://www.asahikawa.jrc.or.jp/
連絡先(窓口)	教育研修センター 0166-22-8111 (代表) kenshuu@asahikawa-rch.gr.jp
病床数	520床
専門研修指導医数	20人
臨床研修指導医数	61人
外来患者数	852.5人/日※令和4年度(2022年度)実績
入院患者数	397.9人/日※令和4年度(2022年度)実績
給与(月額)	55万円



専門研修プログラム

内科

旭川赤十字病院内科専門研修プログラム

上川中部医療圏の中心的な急性期病院であり、上川中部医療圏・近隣医療圏にある連携施設と専門研修を行い、必要に応じた可塑性のある地域医療にも貢献できる内科専門医を目指します。社会背景・医療環境調整も包括する全人的医療を実践できる内科専門医になれます。

〔連携施設〕

【病院】伊達赤十字病院／はらだ病院／慶友会吉田病院／清水赤十字病院／釧路赤十字病院

救急科

旭川赤十字病院救急科専門研修プログラム

上川中部医療圏の中心的な救命救急センターであり、北十勝地域も含めた道北ドクターヘリの基地病院でもあります。2次及び3次救急、集中治療はもとよりDMATや日赤救護班として災害でも幅広く活躍できる救急科専門医の育成を目指しております。

〔連携施設〕

【大学】札幌医科大学附属病院／北海道大学病院 【病院】国立病院機構北海道医療センター／利尻島国保中央病院／北見赤十字病院
帯広厚生病院／市立釧路総合病院／前橋赤十字病院／さいたま赤十字病院／徳島赤十字病院／熊本赤十字病院

【特別連携】清水赤十字病院

総合診療科

旭川赤十字病院総合診療専門研修プログラム

3年コース、4年コースを設定しております。近隣医療圏にある連携施設と専門研修をローテートすることにより、多彩で偏りのない充実した研修を行うことができ、病院、診療所などで活躍する高い診断・治療能力を持つ総合診療専門医になることを目指します。

〔連携施設〕

【病院】伊達赤十字病院／北見赤十字病院／清水赤十字病院



院長から



院長 牧野 憲一

旭川赤十字病院は救急医療・高度医療を主体としたDPC特定病院群の病院です。皆さんがこれから後期研修を行う上で大切なものは豊富な各専門領域の症例と、その症例を的確に診療し指導できる優秀な医師、医師の診療をサポートするメディカルスタッフです。そして皆さんが安心して診療を行うことができる病院のサポート体制、働き方への配慮です。旭川赤十字病院にはそれらがすべて揃っています。是非とも旭川赤十字病院で優秀な専門医になるための道を歩み出してください。

参与から

当院は道北地区における救命救急の中核としての役割を果たす病院で、多くの急性期疾患を受け入れる傍ら、各専門科領域においては難易度の高い先進的な医療も行われています。このように、地域に根ざした良質な医療を提供するとともに、社会に貢献しうる医師を育てることも大きな課題となっています。

そこで当院では、道内3大学との密な連携を組みながら、初期研修を終えた皆さんがさらに上級の「専門医」をめざして研鑽を積めるようなプログラムを作成しました。豊富な症例と整備された環境で、ぜひ私たちと一緒に専門医研修の第一歩を踏み出してください。



参与 長谷部 千登美

副院長から



副院長 小林 巖

当院は救命救急センター及び道北ドクターヘリ運航基地病院として道北の救急医療を支えています。

当院ではこれらを意識した救急専門医のプログラムを用意しております。関連施設での研修は道内に限らず、道外の第一線病院での研修も可能です。2023年度は、1名の専攻医が救急科専門研修プログラムを開始しております。

3次救急のみではなく2次救急も含めた研修を行うことで、医療過疎化と超高齢化を迎えた今の救急医療への対応力を鍛えます。総合診療医のサブスペシャリティとしても有効と考えています。いかに地域に根ざした医療を行うかを考えておられる先生方には当院の専門研修プログラムをご一考願えればと思います。

研修医から

はじめまして。旭川赤十字病院初期研修医2年目の幸高響子と申します。

当院は内科、外科その他眼科、皮膚科など幅広い診療科の専門医の先生がいらっしゃいます。

そのため当院ERに搬送される患者様の病態・疾患は多様であり、日々様々な先生にご指導いただきながらファーストタッチにあたることができます。

また、研修医はonoffの切り替えがはっきりしていてやるときはやる、遊ぶときは遊ぶとメリハリのついた研修医生活を送ることができます。まずは見学に来て、当院の雰囲気を感じてみてください。皆さんにお会いできることを楽しみにしています！

研修医 幸高 響子

